



令和2年2月4日
附属病院

横浜市内初! 動体追跡機能つき最新システム導入 放射線治療装置 新型「リニアック」本格稼働

横浜市立大学附属病院では、様々な種類やステージのがんを治療可能な最新の放射線治療装置「リニアック」を昨年末に導入、今年2月より本格稼働させます。

「リニアック」は日本語では「直線加速器」と呼ばれ、主のがんの治療を行うための放射線治療装置です。新しいタイプのリニアックは、腫瘍部分にピンポイントに放射線の照射が可能で、正常な組織の被ばくを最小限に抑えることができます。加えて、今回当院で導入した新型リニアックは、動体追跡機能を持ち、患者さんの呼吸等体動に合わせて放射線を照射することができるため、より正確な照射が可能となります。また、CTやMRI、PET画像等のデータを取り込み、放射線治療計画を作成する画像融合技術が利用可能で、これにより精度の高い治療計画の作成と照射ができるようになるため、複雑な治療にも対応できるようになります。

このような最先端テクノロジーによる動体追跡機能を搭載した放射線治療システム（新型リニアック）の導入は横浜市内で初となり、最新鋭の機器による放射線治療成績の向上と治療期間の短縮、患者さんの負担軽減につなげることで、先進的かつ安全・安心な医療を提供します。

【新型リニアックの主な特徴】

- ・ 動体追跡機能により腫瘍部分への正確な照射が可能
呼吸による動きで正確に捉えることが難しい肺がんや肝がん、乳がんなども精密な治療が可能に。
- ・ 患者負担の軽減
高い照射精度により正常組織への照射を最低限に抑制し、副作用を抑える。
- ・ 画像診断技術の活用による高精度の放射線治療計画
CTやMRI、PET画像などの取り込みにより腫瘍部分を正確に描出することが可能となり、治療計画を正確かつ効率的に立てることができ、複雑な治療にも対応可能。



2月より本格稼働を開始する新型リニアック

【従来のリニアックとの比較】

	今回導入した新型リニアック	従来のリニアック
IMRT（強度変調放射線治療）	あり（複雑な治療も可）	あり（単純な治療のみ可）
動体追跡機能	あり	なし
1回で放射線照射できる箇所	複数箇所（脳転移など）	1箇所
照射位置の補正	高度	標準

お問い合わせ先

附属病院 医学・病院企画課長 高橋正海

Tel 045-787-2991